

愛知製鋼陸上競技部 全日本35km競歩高畠大会で 山西利和選手が優勝、丸尾知司選手が2位

愛知製鋼陸上競技部（監督：渡邊聡）所属の山西利和選手、丸尾知司選手が、10月23日（日）、山形県東置賜郡高畠町で開催された「第59回全日本35km競歩高畠大会」に出場し、山西選手が2時間26分18秒で優勝、丸尾選手は2位でゴールしました。

35km初出場の山西選手は、終始速いレース展開を繰り広げ、「ブタペスト2023年世界陸上競技選手権大会」の派遣設定記録（2時間27分30秒）も突破しました。すでに出場権を得ている来年の「世界陸上競技選手権大会20km競歩」も含め、更なる活躍が期待されます。

丸尾選手は序盤から山西選手とともに速いペースで進め、持ち前の粘り強く安定した歩きを見せ、2時間27分33秒でゴールし、自己記録を大幅に更新。今後に向け大きなアピールとなりました。

愛知製鋼陸上競技部は、世界の舞台で活躍できる選手の育成に努めるとともに、今後も更なるチーム力強化を推進し、日本のスポーツ振興と地域貢献に取り組んでいきます。

【参考】第59回全日本35km競歩高畠大会成績

山西利和選手 2時間26分18秒 優勝

http://www.aichi-steel.co.jp/sp_info/track02/yamanishi.html

丸尾知司選手 2時間27分33秒 2位

http://www.aichi-steel.co.jp/sp_info/track02/maruo.html



山西利和選手



丸尾知司選手



表彰台に立つ
丸尾選手(左)、山西選手(右)